



毎月、第2、4週に掲載。地域の課題や出来事、まちの話題などのほか、毎月決まったテーマでの投稿や、身近な題材で自由に書いていただくエッセーを紹介します。

★2月のテーマは「卒業」。

締め切りは、2月18日(火)。年が明けると、卒業式シーズン。人生には、さまざまな「卒業」があります。エピソードを交えてお寄せください。※テーマ「夢」に多くの投稿をいただき、1月も続けて紹介します。

テーマ投稿「夢」

私には、どうしてもかなえない夢がある。老人介護施設で療養中の妻が無事回復し、帰宅することである。以前のよう旅行や、ちよっとした買い物、孫との食事もしたい。5年前の9月。私の生死にかかわる手術で共倒れを防ぐため、妻は入所した。私は退院したが一人生活を強いられる。オアシスを探して、砂漠を放浪しているような毎日だ。ふとしたとき、かつて知ったエッセー教室に入会。どれほどの潤いを与えてくれているか。

もはや願望

石岡 清司さん(88歳・無職) = 千歳市

5年が経過。充実した老後を送っている。8月に米寿を迎えた。基礎疾患があるので、いつ感染症に侵されてもおかしくない。妻の症状が気になるが、自分への配慮も必要だ。担当者によると、妻の症状は一進一退で老いが進んでいるという。一度家に連れ帰り、以前の布団に寝て、聞き慣れた柱時計の時報を聞いたら、自然に回復するか妄想を抱く。夢というより、もはや願望かもしれない。冬を迎え、その先には春が…。そう信じたい。

「次に必要になるお金は、子供の学費だ。」33歳と28歳のまだ若い私たちが夫婦は、そう思った。30年以上前の今頃のことだ。学資保険を契約し、どんな事態でも、子供の未来が暗くならないようにと、毎月の給与のたびに将来に備えた。当時3歳の息子は、まだ自分で着替えができなかった。ある冷え込んだ朝、ストープの扉を開くと、そこに「パンサーイ」をさして、パンサーイを引張ったが、抜けなかった。座った母親より、息子

成功した人生とは

白取 有加さん(59歳・会社員) = 恵庭市

の背の方が高くなっていたのだ。これでまた楽になると成長を喜んで「もう大きいんだから着替えさせられないよ」と宣言。ところが息子は「大丈夫。僕、手伝うから」と屈んでみせ、親のくろみを台無しにした。バカな親は、いい学校に行き、いい就職をするのが成功した人生だと思っていたが、息子の方が賢かった。学資保険は無駄になり、息子は親が思った職には就かなかつたが、幸せに世の中を渡っているようだ。

あの日から間もなく1年になる。例年、年末年始は、知人の旅館がある松前町で過ごしている。今年の元日、札幌に戻る途中だった。携帯からサイレンの音に続いて緊急地震速報が鳴った。16時過ぎ。能登半島地震である。状況を把握すべく、車のラジオをつけた。震源地や津波のほか、地震にまつわる情報も流れてきたが、その合間合間に、アナウンサーが「逃げてください! まだ大丈夫と思わず逃げてください!」

心に響く「声」

里形 玲子さん(59歳・会社経営) = 札幌市

と叫び続けていた。常に冷静沈着に情報を伝えるアナウンサーにあるまじき声だった。普段から大きな声が苦手な私は、恐怖すら感じ、震源地から遠くにいるにもかかわらず、足がすくむ思いだった。東日本大震災など過去の震災報道の検証と反省を生かして採用されたアナウンサーの仕方が、放送に賛否の声が上がった。想像を絶する状況に置かれた時に、心に届くのは、どんな「声」なのか。いまだに、答えは見いだせない。

「戦後80年」

来年は、「戦後80年」。今号から、関連の投稿を随時掲載します。原稿をお待ちしています。

遺影の笑顔 父は戦地から島松駅に降り立った。1946年12月。23歳だった。負けた身として人目につく日中を避けて夜だったと聞く。駅で出迎えた祖母は、息子の無事を目にして、肩掛けで顔を覆って泣いていたという。終戦後、樺太(サハリン)でソ連の捕虜になつて、隊の仲間がシベリアに連行されたが、かかとを銃撃され、治療で残されたという。厳寒の地での強制労働。多くを語らなかつたが、晩年「よく生きて帰れた」と話していた。

何より印象深いのは、入隊後の訓練期間中に成績優秀により、上官にと推されたが、「自分は農家の長男なのでお受けできません」と答えたという話だ。妻(私の母)の病気のため、40歳で農業を断念し、家族で札幌に引っ越した。生まれながらの健康体と勤勉さで、80歳まで働き続けた。7年前、94歳で穏やかに旅立った父。遺影で毎日、笑顔を見せるその笑みは、平和の尊さを訴えているように思える。父が帰還した寒い冬が、やって来た。冬花(とうか)さん(71歳・主婦) // 恵庭市

投稿のきまり 原稿には手を加えさせていただくことがあります。一般、テーマ投稿、エッセーとも文章は400字程度で、未発表の原稿に限りです。年齢制限はありません。ペンネームは使用可。受け付けは郵便、Eメール、ファクスで。いずれも郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号の明記を。採否のお問い合わせはご連絡ください。採用された方には薄謝をお届けします。

Table with contact info: 宛先 (〒066-0073 千歳市北斗4丁目13-20), Eメール (ashitanokaze@chanto.biz), FAX (0123-27-4911)

ちゃんと は地域の方々を中心とした独自のポスティングシステムで、毎週各ご家庭にお届けしています。 配布地域内でお手元に届いていない場合はお届けしますので、お気軽にご連絡ください。 ちゃんと編集部 TEL.0123-27-0911

読める? 北海道の地名 びばい 美唄 (北海道中部に位置する市) おおよそこの辺り

島松駐屯地からのお知らせ

令和7年度「島松駐屯地モニター」募集

年間を通じて実施される島松駐屯地の各種行事、訓練等を見学していただき、ご意見(アンケート等)を伺い、それらの意見を基に、今後の駐屯地として行う施策の参考にさせていただきます。 対象 防衛問題、自衛隊に興味をお持ちの方で、駐屯地の各種行事、訓練等を見学いただきますので、平日に参加いただける方 次の各項に該当しない方 (1)国会議員および地方公共団体の議会議員(2)常勤の国家公務員および地方公務員(3)非常勤の国家公務員のうち、行政相談員) 委嘱期間 令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)までの1年間 募集人員 5人 応募方法 はがきまたは封書で①氏名②住所③電話番号④年齢⑤職業⑥応募動機⑦生年月日を明記の上、下記応募先までご郵送ください。 募集期間 令和6年12月2日(月)～令和7年2月28日(金)まで ※定員に達した場合、締め切らせていただく場合があります。 抽選発表 電話かはがきにてご連絡いたします 問合せ 陸上自衛隊島松駐屯地広報班 担当 氣田 〒061-1393 恵庭市西島松308番地 電話0123-36-8611(内線5864) ※問合せは平日8時30分～16時45分まで

なんだっけ...? たなかしん/作・絵 金の星社 ねこさんは大事なあいさつを忘れてしまったようです。朝、起きていう言葉はなんだっけ?寝るときは?ごはんを食べるときは?公園にいるみんながおしえてくれます。 ねぞうプロレス 炎のおとまりバトル ひらぎみつえ/作・絵 教育画劇 ねぞうプロレス第2弾!今夜の舞台はおじいちゃんおばあちゃんのおうちです。あらたなワザの数々がくりだされます!いったいどんなたたかになるのでしょうか? しずかなおきやくさま スリア・フィゲラス/文 アンナ・フォン/絵 宇野和美/訳 光村教育図書 こぎつねがおるすばんをしていると、トントントンとドアをノックする音がしました。こぎつねが「だあれ?」と聞くと、「しずけさだよ」と声がして...さて、どんなおきやくさまでしょう? 本の森から 千歳市立図書館(指定管理者 柳山三ふじや) 図書館に新しく入った絵本より、3冊をご紹介します。